



## 溶接技能者 バックシールドガス溶接の不正による 溶接技能者の資格の一時停止について

一般社団法人 日本溶接協会

2021年7月30日に東京電力 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機固定式消火設備配管溶接部において、要領に決められたバックシールドガス(以下、裏ガスという)を流さずに溶接が行われ、内面に溶接不良がある旨のプレスリリースが東京電力ホールディングス(株)より行われました。担当した溶接士が日本溶接協会(以下、当協会)の溶接技能者資格を有する者であることから、東京電力ホールディングス(株)より当協会に連絡があり、関係各社と協力して調査を実施しました。調査に当たっては、下記参照図書の内容を踏まえ、2022年2～3月に当協会の溶接技能者認証委員会から派遣された調査チームが、要領に決められた裏ガスを流さずに溶接を行った9名の溶接技能者に対するヒアリング等を行いました。

溶接はISO9000fでも特殊工程と定義されてきた品質管理の難しい工程であり、当協会では溶接管理技術者による溶接工法の管理、溶接技能者の技能の管理および検査(非破壊検査など)の三つの徹底を強く推奨しております。

溶接構造物の工事においては、溶接技術に関する技術知識と施工及び管理に関する職務能力をもつWES 8103に基づく溶接管理技術者の資格を有する者が担当するように推奨していますが、今回の事例では、工事管理者に関する資格仕様で、当協会のWES 8103に基づく溶接管理技術者は要求されていなかったことから、ヒアリング対象を溶接技能者としました。

調査結果を当協会の溶接技能者認証委員会で資格に関する倫理規定に則り検討した結果、班長であり現場管理者とのコミュニケーションで裏ガス無溶接を防ぐことの機会があった下表の溶接技能者2名について、当該SUS溶接のJIS適格性証明書(TN-P)の返却を求め、当該適格性証明書を利用した業務の一時停止(6ヶ月)を指示しましたので、お知らせいたします。

なお、社会倫理、企業倫理(原子力安全文化含む)の教育、倫理に抵触する問題が発生した場合の処理ルーチンに関する教育を受け、再発防止を徹底した場合には、該当の溶接技能者の資格の一時停止を解除できることとしております。

表 適格性証明書一時停止の対象と期間

適格性証明書番号	資格の種別	有効年月日	停止期間
①UA2003143	TN-P	2023年4月30日	2022年5月10日～11月9日
②UA1901803	TN-P	2022年11月30日	

〈参照図書〉

- (1) 東京電力ホールディングス 柏崎刈羽原子力発電所6・7号機に関する申告内容を踏まえた調査結果および今後の対応について(2021年12月24日)
- (2) 東京エネシス 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機 固定式消火設備配管溶接部に関する調査結果・原因と再発防止対策について(2021年12月24日)

【本件に関する問合せ先】

一般社団法人日本溶接協会 事業部 溶接技能認証委員会 事務局  
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20 TEL: 03-5823-6325

以上